



NCS
Japanchess.org
2021.11.1

NCS Letter32

“Having once thought of an idea and decided that it is good,
many players fear to make it. Wrongly!”

- JOSE RAOUL CAPABLANCA -

京都祇園オープンIIレポート

優勝者自戦記 ほか



#32

- | | | | |
|----|--|----|-----------------------------------|
| 03 | 理事選挙へのロードマップ
ヒーバート 由美子 | 20 | 初心者向け講座(6)
フォーク
坂井 延寿 |
| 04 | 京都祇園オープンII 赤井 清隆
優勝者自戦記 東野 徹男 | 22 | チェス大会 in アメリカ
上杉 賀子 |
| 07 | NCS オンラインオースタムチェス
レポート
神田 大吾 | 23 | Theme and Variations (9)
前嶋 啓彰 |
| 08 | NCS Sunday Cup 2021
GP4 自戦解説 馬場雅裕
GP5 速報 編集部 | 27 | Information
11月の配信予定表など |
| 10 | 第40回仙台もみじ大会
高橋 光雄 | 29 | 求人案内 |
| 12 | 名局から学ぶ必修パターン
The Magic of Rook Ending
山田 弘平 | 30 | 編集後記
神田 大吾 |
| 16 | From Tyler's Desk
Tyler's Review #4
Scott, Tyler | | |



駒楽



HOW TO CHOOSE A NEW DIRECTOR 新理事

理事選挙へのロードマップ

Step 1

11月10日理事募集締切、立候補者は同月20日までに自己紹介を書く

Step 2

12月1日発行のレターで立候補者の自己紹介、および1月に行われる選挙について記載

Step 3

1月発行のレターで選挙方法など発表

Step 4

1月中旬～後半にオンラインにて選挙

- ▶ 選出される理事は1名
- ▶ 投票権利は11月10日時点においてNCSの年会員である者にあり、投票に参加を希望する者は1月の決まった期日までにNCSに連絡する（連絡方法は後日発表）

京都祇園オープンⅡ



Kyoto Gion Open II Tournament Report

古都開催の雰囲気

大阪阿倍野チェスクラブ 副リーダー 赤井 清隆

2021年10月9日から11日、京都市の東山区の知恩院の宿坊、和順会館で7ラウンドのトーナメントを開催しました。この大会の前身、1回目の「京都祇園オープン」が開催されたのは2005年、祇園のアパホテルのパーティ会場でした。ホテルとのタイアップで宿泊パックなども用意した、アメリカンスタイルのUSCF(アメリカチェス連盟)公式大会でした。いつか、この大会の続きをと図っていたのですが、日本のチェス界の様子が変わり、当クラブも年大会の開催を、奈良、広島、大阪と進めていくうちにクラブがNCS傘下となり、公式戦のめどが付きましましたので2年前から祇園開催の準備をしてきたのです。

京都なので外国の方の参加も広告を打てば、ある程度観光を兼ねていらっしゃるのではないかと考えていました。しかしコロナ禍になり、2年前は開催時には収まっていると考えましたが、オリンピックが延期になり、祝日も変更になり、直前の2021年8月末には緊急事態宣言により深刻さが増しました。一時は延期、中止を覚悟しましたが小康の時期に恵まれ、このたび開催する事ができました。

会場は3日間続けて押さえられる大広間を紹介して頂きました。写経のための机椅子、畳敷きで、靴下になる和式の対局環境ですが、古都開催の雰囲気が出て、良かったかも知れません。和順会館に泊まれる方も多数いました。ここは宿坊なので、朝の5時20分に朝のお勤めの案内が客室に流れ、6時からの読経に参加することができます。大浴場に浸って精進料理のような朝食を頂いて試合後、夜は繁華街に繰り出すというのが、主催者の描くプランでした。



大会は、チーフ・アービターの山田さん、奥様、将来を嘱望される横尾さん、岡田さんのご協力も頂き、順調に進みました。ありがとうございました。会場内の対局風景の写真撮影は許可できませんでしたので、参加者の皆様には、大会トーナメントブック(棋譜集)と会場内写真を配布させて頂きました。

大会の入賞者は、

1 東野 徹男 6ポイント



2 Bibby Simon 5.5ポイント



3 大多和 優斗 5.5ポイント



でした。おめでとうございます。

私はTD(大会長)という立場でしたから、何もしないで大会の運営責任だけ取ればよいということで、ちょっとぶらぶらして、前日から宿坊入りして付近を散策して、大会日は会場のスタッフの皆様と後始末をしていました。繁華街も早く閉まりますので、テイクアウトの美味しい食事を差し入れてもらい居室で楽器の練習といういつもの休日を過ごしていました。

優勝者 自戦記

初の単独優勝

京都祇園オープンII優勝者 東野 徹男

10月9～11日の3日間、大阪阿倍野チェスクラブ主催による「京都祇園オープンII」が開催されました。特に対局環境が素晴らしくて印象深かったので、簡単に報告させて頂きます。本大会は43名の参加者が集まりました(私も含め、関東からの遠征組も多く見られました)。日本ではFIDE公式戦が多くないので貴重な大会と言えます。今回の開催地となった知恩院は、1175年に創建された浄土宗の総本山という由緒ある寺院で、その宿坊である和順会館の大広間が会場でした。



入賞者の皆さん。左から、Bibby Simonさん、東野 徹男さん、大多和 優斗さん。

大会の途中で、今回開催の環境の好評を感じましたので6R終了後に次回の開催を決めました。階下の大ホールでしようと思っていたのですが、大広間の窓から見える樹木がいいとお聞きしたので次回は風景を期待して、ハイシーズンを少し避け、秋も深いですが紅葉の残る3年後の2024年11月29日～12月1日の金土日とさせて頂きました。オープンクラスは大広間、畳敷、上位のボード木の盤駒セット、90min+30sec FIDE公式戦、6ラウンドを予定しています。チェスファンの皆様、3年後、秋の祇園でお会いしましょう。

追記：阿倍野チェスクラブの来年の大会候補地は、箱根、熱海、湯河原方面です。僕は月末これから現地調査に向かいます。それではまた！

Kyoto Gion Open II Tournament Report



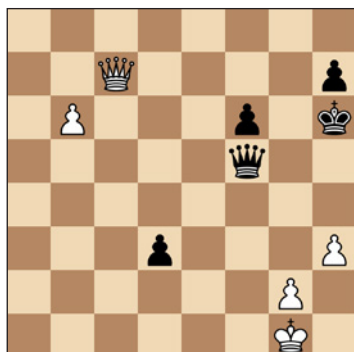
当日、まず目に入ったのが窓から見える木々の緑で、その鮮やかさと視界の広さに圧倒されました。今回は寺院内を散策する余裕がなかったのですが、次回はゆっくりと鑑賞したいものです。また、室内は畳敷の広い和室で、感染対

策の一環として間隔に余裕を持たせて机が配置され、履物は靴下のみで椅子に座って対局という形になっていました。

次に目を引いたのは立派なチェスセット。上位ボードには、サイズも大きくラグジュアリーなピースが並べられていました。後に赤井さんに伺ったところ、高島文治さん所有のセットをいくつか提供して頂いたとのこと。私はこのような立派なピースで対局したのは初めてで、いたく感激しながら指していました。高島さん、ありがとうございました。この他、感染対策も万全で、快適に対局に臨むことができました。これまで経験したことのない対局環境で、会場と同じ場所に宿泊できるという利便性もあり、参加者の多くの方からまた次回も参加したい、という声が聞かれました。次回は3年後(!)今回と同じ知恩院和順会館で開催して頂けるとのこと。私もぜひ参加したいと思っています。

さて大会の結果ですが、私が5勝2分で優勝することができました。リスト上位の2人に苦しい展開から引き分けを取れたことが印象に残ったので、その2試合を紹介。4Rで大多和優斗さんと3連勝同士の対局、私が黒番でNimzo Indianを採用し、中盤で受け間違えて苦しくなりましたが、何とかクイーンエンディングに持ち込んで第1図。

【第1図】52...Kh6まで(白番)



ここから、53. Qc1+ Kg6 54. b7 Qb5 55. Qc7 d2 56. b8Q d1Q+ と進み、盤上に4つのクイーンができましたが、ひと組を交換してドローとなりました。なお、53.Qc1+ では Qd6!! とすれば黒に有効な手がなく私が負けていたようです(時間がない中でのクイーンエンディングは難しいですね)。

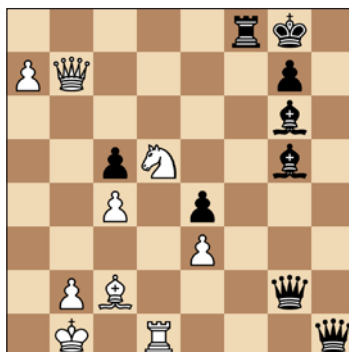
続いて5RはBibby Simonさんとの対局、この日3試合目で疲労もピークです。序盤で失敗した後、辛抱を続ける展開となり迎えた第2図。

【第2図】28...Rf8まで(白番)



ここから、29. a4 h4 30. a5 h3 31. a6 h2 32. a7 h1Q (第3図)と進みました。盤上に残っている駒も多い中、端ポーンをただ進めるのは珍しいですね。

【第3図】32...h1Qまで(白番)



Kyoto Gion Open II Tournament Report

優勝者 自戦記

また4クイーンか?と思いましたが、33.a8Qだと33...Qhh2 34.Qa4など変化が複雑で訳が分かりません。実戦は33.Rxh1としましたが、結果的には正解だったようです(エンジンの評価は0.00)。この後ドローオファーを受けて引き分けとなりました。

この他の試合も大きなブランダーはなく、自分としては手堅く指せたと思います。月並みですが、初の単独優勝なので大変励みになります。これからも少しずつ向上していきたいと思います。最後になりましたが、素晴らしい対局環境を用意して頂いた大阪阿倍野チェスクラブの赤井さん、高島さんをはじめ関係の方々、滞りなく大会運営をして頂いた山田さん横尾さん他、スタッフの方々に感謝申し上げます。次回の大会も本当に楽しみです。





NCS ONLINE オータムチェス Autumn Chess

10月3日(日)にオンライン・オータム・チェス大会が開かれました。リチェス (lichess.org) にて、15分+10秒/手、スイス式5ラウンドのNCSラピッド公式戦です。

参加者は38名でした。オンラインとしては盛会です。IM小島慎也とIM南條遼介の両雄が顔を揃え、ChessBaselIndiaつながりでWIMのFranco Valencia Angela (コロンビアのオリンピック代表) が出場と、とてもハイレベルな大会となりました。

参加メンバーの華やかさで話題を呼んだオータムは、1Rで大金星が生まれました。竹内惇がWIMを破ったのです。B+N+N対B+B+Nのエンディングを61手で勝ち切ったのはお見事でした。拍手!

続く2Rと3Rは波乱なく上位者が勝ち、迎えた4Rには「伝統の一戦」(山田弘平) が組まれました。共に3連勝した小島と南條の直接対決です。

オンラインの国内大会で2人が揃うのはこれが初めてです。振り返ってみれば、2005年に小島が全日本チェス選手権で初めて優勝して以来、彼と南條の2人が日本チェス界を牽引してきました。小島によれば「南條くんは同じ1988年生まれの同級生で、麻布への入学、チェス部入部の時期も同じです。私の記録にあるものを調べたところ、棋譜を残している試合で92試合、そのうちJCA時代を含めてレーティング変動のある公式戦は70試合でした。ただ、私が高校2年生の期間の一部の棋譜を紛失してしまい、それを含まないで正確な数がわかりません。それを含めると非公式戦も入れて約100試合といったところでしょうか。」長年にわたり互いに切磋琢磨し合う良きライバルで、2010年の全日本では2人が同ポイントでアベック優勝しました。

今回のオータムでは、南條に軍配が上がりました。続く5Rも勝ち、全勝で優勝です。おめでとうございます!

オータム大会の入賞者を右側に掲げます。出場された方々、お疲れ様でした!

(文 神田 大吾)

OPEN

1st IM南條 遼介 5.0/5

2nd 竹内 惇 4.0

3rd 東芝 輝臣 4.0

A (UI700)

1st 池野上 俊 3.0 (9.75)

2nd 前原 一心 3.0 (7.00)

3rd 岡部 悠真 3.0 (6.00)

B (UI400)

1st 岡山 涼大 2.5 (4.75)

2nd ロールストン ダニエル 2.5 (4.75)

3rd 千綿 駿平 2.5 (3.50)

C (UI100)

1st Kumar Ganesh 2.0 (3.00)

2nd Virle Kimaya 2.0 (2.00)

3rd 吉田 權 2.0 (1.00)

NCS SUNDAY CUP 2021

勝ちへのオンリームーブ

～サンデーカップグランプリ第4戦 自戦解説～ 馬場 雅裕

—前号（レター第31号p.16）にて速報でお伝えしました通り、サンデーカップグランプリ第4戦はチャン・タン・トゥさんが初優勝しています。

この第4戦で生まれた名局のひとつ、■馬場雅裕□古谷昌洋戦を馬場さんご自身の解説でお届けします。

FM Baba, Masahiro
Furuya, Masahiro
NCS Sunday Cup 2021 GP4
[B42] Sicilian Defense, Kan

1.e4 c5 2.Nf3 e6 3.d4 cxd4
4.Nxd4 a6 5.Bd3 Bc5 6.Nb3 Be7
7.Qg4 g6 8.Qe2

Qg4-Qe2で黒にg6を突かせ、h6を弱点にします。8...Nf6には9.Bh6! で黒はショートキャスリングできず、黒キングはセンターに居座ったままになります。

8... d6 9.O-O Nd7 10.Na3

このナイトはc3よりc4で働くことがあるので、ナイトを端に展開します。c3のマスが空くことで、黒マスビショップをc3に置くオプションができます。

10... b6 11.Nc4 Bb7 12.Bd2 Qc7
13.Rad1 h5 14.Bc3 Ngf6

14...Bf6には15.Nxd6+ Qxd6
16.Bb5 Qxd1 17.Rxd1 axb5
18.Qxb5のような手を考えていましたが、これは足りていません。

15.f4 O-O 16.Kh1 d5 17.exd5
Nxd5 18.Bd2 N7f6 19.Ne5 b5
20.Nd4

両ナイトを黒キングに近づけます。e6、f7、g6のどこを切るか考え始めます。

20... h4 21.f5?

e6、f7、g6のどこを切っても効果的な攻撃は発見できなかったため、強引に攻めの起点を作ろうとしましたが、反撃を軽視していました。

21... exf5 22.Nxf5 h3!

22...gxf5 23.Rxf5は黒が危険に見えました。本譜はh1-a8ダイアゴナルを開ける白にとって悩ましい1手です。

23.Rg1 Bc5 24.Nh6+ Kh7?

24...Kg7! なら本譜のような攻めは決まらなかったでしょう。

白番 White to move



25.Nhxf7!

アタック開始!

25... Rxf7 26.Bxg6+ Kg7 27.Bxf7
Bxg1 28.Rxg1 Rh8

28...hxg2+ 29.Qxg2+ Kf8
30.Qg7+は白勝ち。

29.gxh3+

ロングダイアゴナルを開ける怖い1手ですが、黒に...Nf4のディスカバードチェックのタイミングが無ければ問題ありません。果たして白の攻撃は続くのか?

29... Kf8 30.Ng6+! Kg7

30...Kxf7 31.Nxh8+ Kf8
32.Bh6+はメイトを防ぐのに黒はクイーンを挟まなければいけないので、ゲームセット。

31.Nxh8+ Kxh8

31...Kf8 32.Bh6#がポイントです。黒は攻めを受け切ったかのように見えますが...

白番 White to move



32.Rg8+!!

ナイトの利きをh5のマスからそらすためのルーク・サクリファイス! 勝ちへのオンリームーブです。

32... Nxg8

キングが避ける32...Kh7には、33.Qd3+で次にメイト。

33.Qh5+ Kg7 34.Qg6+ Kf8
35.Qxg8+ Ke7 36.Bxd5

シンプルにナイトを取ってピースアップ。池田くんの指摘したトリッキーな36...Qc4に対しては、Qe6+からBa5+でフィニッシュ。

1-0

グランプリ第5戦

NCS Sunday Cup 2021 GP5



サンデーカップグランプリ第5戦を制したのは南條遼介でした。GPで3度目の優勝です。2位に山田弘平が入り、GPポイントでも2位となってファイナル進出を決めました。以下、3位が青嶋未来、4位Tran, Thanh Tu、5位中村尚広、6位東野徹男、7位平尾聡至でした。

GP総合順位は下記の通りです。11月14日がいよいよ最後のGP予選で、GPポイント（ベスト3回の合計点）上位6名が12月19日のグランドファイナルに進出します。ファイナリスト6名は誰になるのか。1位に10点、2位に7点ですから、まだ多くの選手にファイナル進出の可能性があります。逆転で滑り込むか、逃げ切るか。これは見逃せません！

グランプリ順位（第5戦 10/17 まで）

Rank	Name	Lichess Name	Total GP Point
1位	南條 遼介	rnanjo	30
2位	山田 弘平	kou88	19
3位	Tran, Thanh Tu	gm3t	18
4位	Koh You Liang	Isopach	17
5位	青嶋 未来	sniper_boy	15
6位	馬場 雅裕	masahirobaba	11
7位	中村 尚広	rye7	9
8位	Scott, Tyler	Nobunaga_Oda	8
9位	東野 徹男	westin1974	6
10-11位	塩見 亮	wrongcastling	5
	東芝 輝臣	higapon	5

関連リンク：

大会会場 <https://lichess.org/swiss/lrHitB1Z>

大会実況 <https://youtu.be/F-c2xPvZwmM>

もみ大会

仙台

第40回

2021年10月10日（日）に、標記の大会が開催されました。参加者は、ワクチン優先接種の二人（菅原さんと高橋）と若者（佐藤さんと山田さん）の4名で、このところ新型コロナウイルスのせいもあって、参加者が減少傾向です。

ゲームは、45分+30秒の持ち時間制の4ラウンドで競われ、佐藤慧人（けいと）さんが3勝1分で優勝しました。たなばた大会に続いての二連覇です。無理のない堅実な棋風が特徴で、順当な結果と言えるでしょう。成績一覧は次のとおり。

順位	氏名	1R	2R	3R	4R	point
1	佐藤 慧人	D (3)	W (2)	W (4)	W (2)	3.5
2	高橋 光雄	D(4)	L(1)	W(3)	L(1)	1.5
3	菅原 信郎	D(1)	W(4)	L(2)	L(4)	1.5
4	山田 剛史	D(2)	L(3)	L(1)	W(3)	1.5

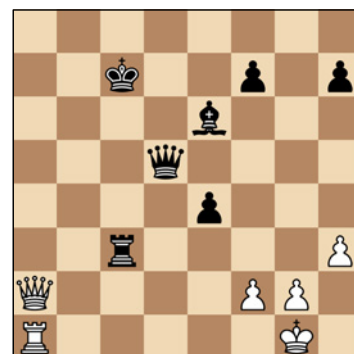
[W：勝ち、L：負け、D：引き分け]

(文 高橋 光雄)



優勝した佐藤さん

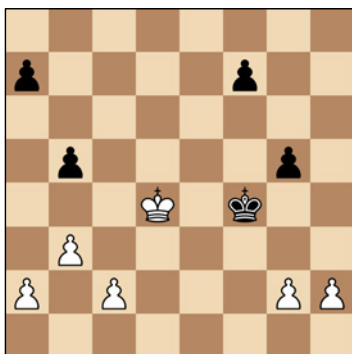
第1ラウンド。菅原さんがレーティング上位の佐藤さんからドローを獲得しました。このゲーム、エクステンジアップ（18手目）の佐藤さんが、その後ルークをタダ取りされて（24手目）、「朝一番でネボケてました」と、ぼやいていました。いっぽう、菅原さんは粘っての逆転でしたが、残り時間が少なくなり、41手目にてドロー提案となったものです。



□佐藤 ■菅原、最終局面
41...Rxc3まで



第2ラウンド。菅原ー山田戦では、26...g5と黒が指したところ
です。



□菅原 ■山田、26...g5まで

ポーンアップの白は、ここで
決定打を放ちます。27.c4! この
白ポーンを黒が取れば
(27...bxc4) 白が取り返して
(28.bxc4) パスポーンができま
す。ポーンアップでの勝ち方
のお手本でした。以下、34手目
にて白の勝ちとなりました。

同じく第2ラウンド、高橋ー佐
藤戦での、33...Ra2の局面です。



□高橋 ■佐藤、33...Ra2まで

ここで白は、f6の地点を狙って
33.Bxd7 Qxd7 34.Rxf6??と指しま
した。黒のキングサイドの一角を
崩してシメシメと思っていたこ
とです。しかし、黒からは34...Ne2+
のフォークがサクレツ、白投了で
す。白は攻めることばかり考
えて、g4のビショップやf2のル
ークでe2の地点を守っていたこ
とを失念してしまいました。

第3ラウンド。□佐藤 ■山田戦
は初手から。

1.e4 e5 2.Nf3 Nc6 3.Bb5 Nf6
4.d3 Bb4+ 5.c3 Bd6 6.0-0 0-0
7.Bg5 b6 8.Re1 Bb7 9.Nbd2 Ne7
10.Nf1 c6 11.Ba4 Bc7 12.Ng3 h6
13.Bd2 b5 14.Bc2 Re8 15.Nh4
d5 16.exd5 cxd5 17.Qf3 Rb8
18.Ngf5 Nc6



□佐藤 ■菅原、18...Nc6まで

ここで白は19.Qg3! これが決
定打になりました。以下19...Nh5
20.Qg4 g6 21.Nxg6 fxc6
22.Qxg6+ Kf8 23.Bxh6+ Ng7
24.Qxg7#

第3ラウンドまでで、ひととお
り4人による総当たりが終了し、
最終の第4ラウンドは、第2ラウ
ンドとは色を取りかえての対戦
となりましたが、いずれも老人
クラブの二人の体力負け、若者
二人(佐藤さんと山田さん)が
圧倒して勝ち切りました。菅原
さんいわく、「一日を楽しく過
ごせました」。心地よい疲労感
を味わいながら、それぞれ家路
につきました。

仙台チェスクラブでは、経済
的負担を考慮して、全国組織
(NCS)の会員であるなしに関
係なくチェスをやれることを優
先させて運営されてきています
(公式戦をやりたい方へは会員
になることを勧めています)。

「チェスは二人の対局者で創造
する芸術である」という見方が
私は好きです。これからも、体
力を維持して活動を続けたいと
願っています。



名局から学ぶ必修パターン

~The Magic of Rook Ending~

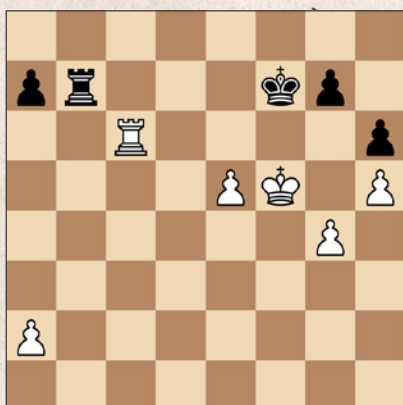
山田 弘平

ルークエンディングは、チェスの上級者になるために必ず勉強しなければならないテーマの一つです。実戦での出現率が高く、膨大な知識と正確な読みが要求され、力量差が最も出やすいエンドゲームであるためです。一般的にはドロウになりやすいと言われますが、それも理論上の話。実戦ではほんの少しの差が勝敗に直結することもよくあります。

今回は、そんなルークエンディングに勝つための秘訣を、名人たちから教わることにしましょう。一見互角の局面から、相手を追い込んでいくテクニックは魔法のように見えるかもしれません。そんな魔法の種をほんの少し、手に入れてみましょう。

図はルークエンディングの名手、Akiba Rubinstein (アキバ・ルビンシュタイン) の実戦から。次の白の一手、40.a3!を見て黒はリザインしました。次に何を指しても負けてしまう、いわゆるツークツワンクの状態に追い込まれたのです。

「Rubinsteinとはルークエンディングのことである」とまで言われたテクニックは、Youtubeの講座 (<https://www.youtube.com/watch?v=jblugjKgXvY>) で楽しみください。



Rubinstein - Lasker 39...Kf7 まで

みなさん、こんにちは。編集の方に言われて気がついたのですが、NCSレター上での本連載も今回でついに10回目を迎えることとなりました。NCS主催のOTBトーナメントが開催できないままで、なかなか本連載の評判を聞く機会もないのですが、きっと誰かのためにはなっているものと信じています(笑)。

第1回で書いたように、私は古典の勉強はほとんどしないプレイヤーだったので、この連載で扱ったゲームのほとんどは「将来人に教えるときにこれくらい知らないと恥ずかしいよね」という消極的な理由で並べていたゲームなのですが、連載のため改めて勉強しなおすことでたくさんの発見がありました。

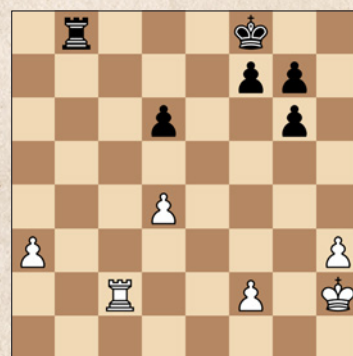
ぜひ、読者の皆さんは私のように(?)遠回りをせず、古典の名局から有用なチェスのパターンをどんどん吸収してください。

今回のテーマは、チェスのなかで最も難しいテーマの一つである「ルークエンディング」です。私も定期的にこのテーマを勉強するのですが、毎回勉強するたびに、何もわかってないことに気付かされる分野です。

ルークエンディングをきちんと理解するためには膨大な理論の勉強が必要で、それを説明するためには本が何冊も必要なので、この記事ではもっと実戦的なテクニックに焦点を当てましょう。

今回のキーワードはずばり「Activity」。ルークエンディングでは駒の働きがとても重要です。早速、Rubinsteinの実戦からそのことを学びましょう。

Spielmann, R
Rubinstein, A
St Petersburg 1909



Spielmann-Rubinstein 40.Rxc2まで

40手目からこのゲームを見ていくことにしましょう。

駒の損得はありませんが、白のポーンがバラバラで目標になりやすいのに対して、黒の方はキングがサポートしやすい位置にポーンが固まっています。ポーンのかたまりを島に見立ててポーンアイラ

ンドと呼ぶことがあります。白は4つ、黒は2つの島を持っていることとなります。通常、守る島は少ないほうが良いので、上図は互角かやや黒が指しやすい局面です。

さて、Rubinsteinはどのようにプレッシャーをかけるのか、見ていきましょう。

40... Ra8! 41. Rc3 Ra4! 42.Rd3

まずはルークで2つの島、a3とd4に狙いを定めます。白が駒損を避けるためには、42.Rd3しかありませんが、これにより、白ルークの動けるマスがぐっと少なくなることがわかりでしょうか。

このようにまずはポーンをアタックして相手のルークを守りに使わせることで、ルークの働きに差をつけるのが、勝ちをつかむ第一歩。

今の局面では、黒のルークのほうがアクティブ（活動的）で、白のルークのほうがパッシブ（消極的）と言えます。

必修パターン：ルークのアクティビティを高めよ！

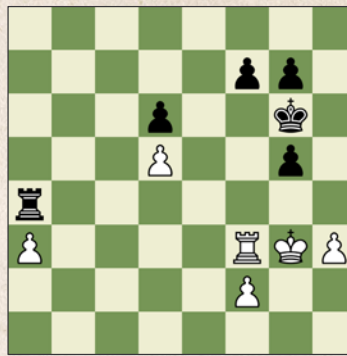
ルークエンディングではルークのアクティビティが生命線。可能な限り自分のルークを攻撃に使い、相手のルークを守りに使わせよう。

逆に守る側になってしまった場合は、自分のルークが復活する手段を全力で探そう。ときにはポーンを捨ててもルークをアクティブにすべし！

42... Ke7 43. Kg3

ルークの役割が決まったので、お互いにキングを繰り出します。

ここでは黒キングの進軍を止めるべく、43.d5!?が面白いディフェンスでした（43...Kf6 44.Rf3+!で黒キングをセンターに進ませない狙い）。以下、43...g5! 44.Kg3 Kf6 45.Rf3+ Kg6（変化図）と進み、「白は難しい問題に直面する（Kasparov）」こととなります。



変化図 45...Kg6まで

黒は次にRd4を狙っていますが、46.Rd3?では46...f6! 47.Kf3 Kf5と黒キングの進軍を許してしまいます。46...f6としてf7の弱点を解消する手も狙いになっているわけですね。

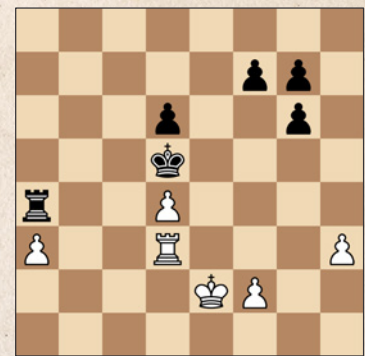
Rd4とf6-Kf5の両方を防ぐ手段はないようにみえますが、ここでもルークのアクティビティが鍵になります。46.Rb3!がルークの力を最大限に活かすカウンター。46...Rd4 47.a4!と進めて、47...Rxa4には48.Rb6、47...Rxd5には48.Rb5!とぶつけて、どちらもドロージャンスのあるエンドゲームです。

白は2ポーンを捨てても、d6の黒ポーンさえ消してしまえばドロースタイルにできる、と気づくことがポイントです。そのために46.Rb3とルークを目一杯働かせることが重要になります。このアイデアはこの後の手順にも現れますので、頭の片隅に置いておくことにしましょう。

43... Ke6 44. Kf3 Kd5 45. Ke2!?

45.h4!と黒のキングサイドが伸びてくるのを抑えておく手も考えられましたが、本譜の手には罠が仕掛けてあります。

あなたが黒ならどのように指しますか？



Spielmann-Rubinstein 45.Ke2まで

45... g5!

45...Rxd4?には46.Ke3!が狙いの一手。黒は46...Rxd3+ 47.Kxd3 g5とするくらいですが、48.a4とアウトサイドパスポーンを進めて、むしろ黒がドロースタイルを目指す局面となります。

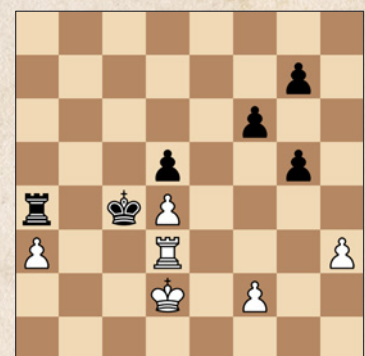
この罠を回避して45...g5が好手。h3の弱点を固定します。

46. Rb3 f6!

46...Rxd4? 47.Rd3!はドロースタイル。46...Kxd4?には47.Rg3!!が発見しづらいカウンターで、これもドロースタイルです。

47. Ke3! Kc4! 48. Rd3 d5 49. Kd2

黒はついにc4のマスへ侵入しましたが、白も粘り強くディフェンスします。ここから更に局面を進めるアイデアを考えてみてください。



Spielmann-Rubinstein 49.Kd2まで

49... Ra8!

お手本のようなスイッチです。キングがc4に来たことで、先程まで大威張りしていたa4のルークの

役割は少なくなりました。そこで、Rubinsteinはルークをよりアクティブなマスに運びます。

50. Kc2 Ra7 51. Kd2 Re7

50...Ra7と1手損しておくことで、手番を白に渡します。52.Kc2 Re2+ 53.Rd2 Rxd2+ 54.Kxd2 Kb3! -+のようにキングを動かすと負けになってしまうので、白はルークかポーンを動かすしかありません。

52. Rc3+ Kxd4 53. a4!

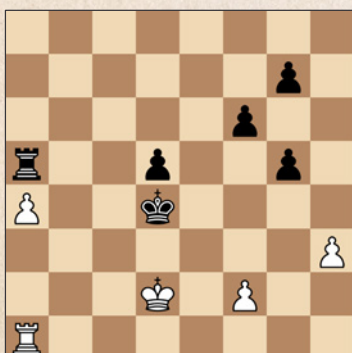
43手目の変化でも現れた、dポーンとaポーンを犠牲にルークをアクティブにするディフェンスです。黒は50手目からの手順でaポーンを動かすことを強制しましたが、白もその誘いにのり、ポーンを捨てる覚悟で勝負します。

一手一手の意味は難しいかもしれませんが、お互いにルークをアクティブにするため死力を尽くしていることを感じ取ってください。

53... Ra7 54. Ra3 Ra5 55. Ra1

白がパスポーンを進める狙いを見せたことで、黒のルークは54...Ra5と受けに回ります。黒は駒得していますが、ルークがアクティブでないためすぐに勝つことはできません。

さて、この問題を解決するにはどうすれば良いでしょうか？ここでやはりルークを「アクティブ」にするのがポイントです。



Spielmann-Rubinstein 55.Ra1まで

55... Kc4!

まさに教科書のような一手。黒はキングをa5に配置し、黒のルークがフリーになるように準備します。

56. Ke3?

黒のプランを許すミス。代えて56.Rc1+! Kb4 57.Rb1!+ Kxa4 58.Kd3 Rc5 59.Kd4 Rc2 60.Rb7 Rxf2 61.Rxg7=でドローですが、56.Rc1+は20世紀の後半に発見されたカウンターです。Spielmannが自身の解説でこの56手目にコメントをつけていないのも無理からぬことでしょう。

56... d4+! 57. Kd2 Rf5 58. Ke1 Kb4 59. Ke2 Ka5

黒の理想図が出来上がりました。ルークは完全にアクティブになり、白のポーンを仕留めにかかります。

60. Ra3 Rf4 61. Ra2 Rh4 62. Kd3 Rxb3+ 63. Kxd4 Rh4+ 64. Kd3 Rxa4 65. Re2 Rf4 66. Ke3 Kb6 67. Rc2 Kb7 68. Rc1

白は黒キングをカットオフすることに望みをかけますが…。

68... Ra4!

黒はRa4-Ra6-Rc6で対抗し、キングをポーンに近づけます。

69. Rh1 Kc6 70. Rh7 Ra7 71. Ke4 Kd6 72. Kf5 g6+!

最後はちょっとしたタクティクスを使い、優位を勝ちのポーンエンディングに変換して勝負あります。

73. Kxg6 Rxb7 74. Kxh7 Ke5 75. Kg6 g4 0-1

お手本とすべき手筋がたくさん詰まった、芸術的なエンドゲームでした。対戦相手のSpielmannは局後、Rubinsteinに「このルークエンディングで君がやったことは魔術としか言いようがない！中世なら火あぶりの刑だっただろうね！」と言ったとか言わなかったとか…。

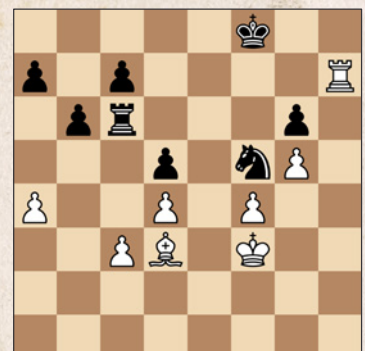
これでも詳細な解説はだいぶ省いています。何度も勉強する価値のあるゲームなので、熱心な方はぜひご自身でもう一度研究してみてください。

さて、今のゲームのポイントはルークをアクティブにすることでしたが、キングのアクティビティも忘れてはならない要素です。

必修パターン：キングのアクティビティを高めよ！

ルークエンディングではキングも重要なピース。相手のキングを抑え込んでチェックメイトを狙う、パスポーンをサポートするなど、様々な役割をこなすことができる。少しでも盤の中央で使えるように意識しよう！

**Capablanca, J
Tartakower, S
New York 1924**



Capablanca-Tartakower 33...Nf6まで

黒がe3のナイトをf5に引いた局面です。白はルークで黒キングを抑え込んでいるものの、c3のポーンが助からない状況になっています。

Capablancaが指した次の手順は、駒を捨ててもキングをアクティブにするお手本と言えるでしょう。

34. Bxf5! gxf5 35. Kg3!

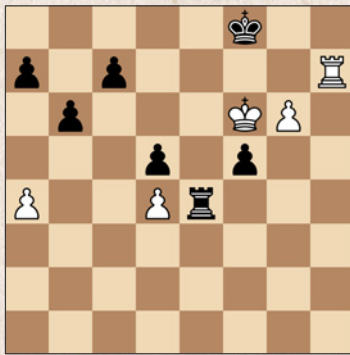
c3のポーンを見捨て、白キングを相手陣地の3段目に侵入させる作戦です。黒にくらべ白のキングの方がはるかにアクティブなので、いくつかポーンを捨てても代償は十分です。

35... Rxc3+ 36. Kh4 Rf3 37. g6!

狙いはKg5-Kf6-Rh8#です。黒はチェックメイトとgポーンの昇格を防がなくてはなりません。白はその間にクイーンサイドのポーンを回収します。

黒が得したポーンは役にたたないどころか、白キングをルークのチェックから守る盾になっています。このようにルークエンディングでは、相手のポーンの裏側に潜りこむ手が好手になりやすいものです。

37... Rxf4+ 38. Kg5 Re4 39. Kf6



Capablanca-Tartakower 39.Kf6まで

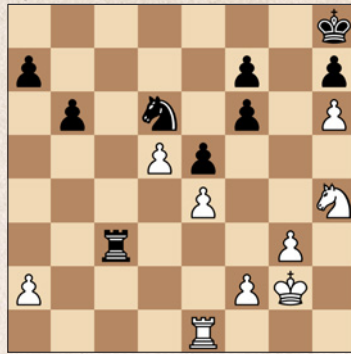
8段目の相手キングを6段目のキングで抑え込む、ルークエンディングの理想図の一つです。この形は次にバックランクメイトがあるので、相手に対応を迫ることができます。

39... Kg8 40. Rg7+ Kh8 41. Rxc7 Re8 42. Kxf5 Re4 43. Kf6 Rf4+ 44. Ke5 Rg4 45. g7+ Kg8 46. Rxa7 Rg1 47. Kxd5 Rc1 48. Kd6 Rc2 49. d5 Rc1 50. Rc7 Ra1 51. Kc6 Rxa4 52. d6 1-0

最終的には白が黒ポーンを一掃し、白の駒得となってゲームが終わりまりました。Capablancaのゲームの中でも五指に入る有名なゲームなので、34手目からの手順は覚えておいて損はありません。

最後に現代のエンドゲームキング、Magnus Carlsenが世界チャンピオンになる前のゲームを見てみましょう。

**GM Carlsen, M
GM Aronian, L
Candidates SF 2007**



Carlsen - Aronian 26...Rxc3まで

駒の損得はありませんが、黒はc3にアクティブなルークを持っています。白の主張はd5のパスポーンですが、このポーンはd6のナイトが「ブロック」しています（前々回のパターンを覚えていますか?）。

さて、Carlsenは何を武器に戦うのでしょうか？ここまでの内容を思い出して、考えてみてください。

27. Nf5!!

d6で良い働きをしているナイトを交換し、ルークエンディングに持ち込みます。黒のルークは十分アクティブですが、黒キングはアクティブになるのに時間がかかります。h6のポーンが素晴らしい働きをしていることに注目しましょう。

Carlsenは黒キングがアクティブでないことを利用して優位を築きます。

27... Nxf5 28. exf5 Kg8

28...b5 29.d6 Kg8 30.Rd1 Rc8 31.d7 Rd8の変化では、ちょっとした技術が必要です。黒キングを封じ込める32.g4! Kf8 33.g5!が好手順。33...fxg5 34.f6は次のRc1-Rc8が受けられないため、黒は33...Ke7とします。そこで34.g6!fxg6 35.fxg6 hxg6 36.h7とパスポーンを作って白勝ちです。次のRc1-Rc8で、dかhどちらかのポーンがクイーンになれます。

そこで黒は28...Kg8ですが…。

29. Re4! Kf8 30. Rg4 Rc7 31. Rg7

白はルークを最大限アクティブに使用して、h7のポーンを落としに行きます。

31... b5 32. Rxh7 Kg8 33. Rg7+ Kh8

黒キングは隅に戻るしかありません。33...Kf8には34.Rg4 Rc4 35.Rxc4 bxc4 36.d6で白のクイーンが先にできます。

34. d6 Rd7 35. Kf3!

ここでもキングのアクティビティが鍵！Ke4-Kd5-Kc6の侵入を目指します。

35... b4 36. Ke4 Rxd6 37. Rxf7 Ra6

最後はCapablancaのゲームを思い出してみましょう。

38. g4! Kg8 39. h7+ Kh8 40. g5! fxg5 41. f6 1-0

次にKf5-Kg6とポーンの裏側に潜り込めば、黒はメイトを防ぐことはできません。RubinsteinやCapablancaのように、Carlsenもアクティビティを意識していることが伝わったのではないのでしょうか。

今回はいつものように一局通してではなく、エンドゲームに焦点を絞った解説にしてみました。ルークエンディングの勉強といえば、ルセナ・ポジションやフィリドール・ポジションのような理論的な側面が取り上げられがちですが、実戦では今回扱ったアクティビティの考え方がエンドゲーム全体を通して重要になります。

もちろんこの記事を読んだだけで、ルークエンディングを指しこなせるというわけにはいきません。理論の勉強はもちろん、ルークエンディングでは読みの力や経験値も必要になります。

棋譜並べだけでなく、たくさんの実戦を通してパターンを身に付けていきましょう！

From Tyler's Desk:

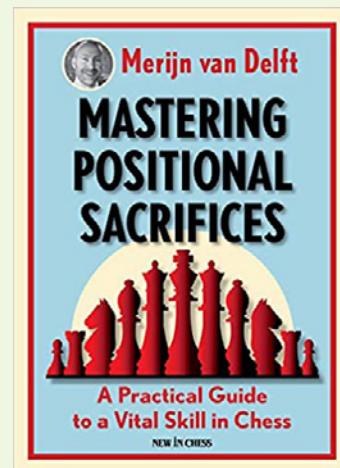
Tyler's Review #4

By Scott, Tyler

Mastering Positional Sacrifices: A Practical Guide to a Vital Skill in Chess

By Merijn van Delft

New in Chess, 2020



I was pleasantly surprised to receive this book last year as a Christmas gift, seeing how it is about a topic I have always been interested in. In this review, I will not only discuss the strengths and weaknesses of this book, but also analyze some of the positional sacrifices I have played and seen in Japan.

First, what is a positional sacrifice and how does it differ from other types of sacrifices? I will illustrate the difference with some examples from my own games:

Scott, Tyler - Saito, Hiromasa [B12]
Tokyo Championship 2019 Round 6



White has a nice combinational sacrifice here. Can you find it?

16.Nxe6! Nxd2 16...fxe6?! accepting the sacrifice is even worse. **17.Qg6+** Kf8 **18.Qxe6** Qa3 **19.Nf3!** leads to an eventual mate, as the threat of Ng5 cannot be parried effectively.

17.Nxg7+ Kf8 18.Bxd2 Bxh4 19.Nf5 Bd8 20.Nd6 Nc7 21.Qf5 f6 22.Qg6 Black resigns.

1-0

I referred to the knight sacrifice in the game above as 'combinational' because

it led to a position that was immediately winning for White in a concrete, tactical sense. This kind of sacrifice is NOT the subject of this book. Instead, this book examines sacrifices where the side making the sacrifice doesn't regain the sacrificed material right away, or at all, in the foreseeable future, but gains some kind of long-lasting advantage or compensation instead.

For instance:

Scott, Tyler (2267) - Nakahara, Kan (2233) [C11]

NCS Rapid Online 2020 - 3



Black lacks space here, and consequently, struggles to find meaningful counterplay.

22...Kc7 23.h5!? Not the only move, but I found a nice way to sac a pawn to limit my opponent's counterplay.

23.Rb2, doubling on the b-file, was probably best, as the b-pawn is weak and the Black king has moved to the queenside.

23...gxh5 24.f5 Qg8 Black manages to trade queens, but even without them, his position will still be cramped.

25.Qxg8 Rhxg8 26.f6 Bf8± As compensation for the pawn, White has more space and better pieces. His c-pawn is passed, which might be use-

ful in the endgame, and his f-pawn is already very far advanced. Black, on the other hand, has an extra pawn, though it is a doubled h-pawn, and suffers from a lack of space and disconnected rooks. White is much better.

27.Kf2 Rb7 28.Rb2 28.Bd1! discouraging ...Rg4, is probably best.

28...Rg4 29.Rab1? After this move, Black gets good counterplay.

29.Nh2! chases the annoying rook away. **29...Rg8 30.Bd1!±** taking back the pawn, and aiming at the weak f7-pawn, looks good for White.

29...b4! Black secured enough counterplay, and after some further inaccuracies from both sides, the game was eventually drawn.

1/2-1/2

Now that we've differentiated positional sacrifices from combinational ones, let's discuss this book. The author, Merijn van Delft, is an international master from the Netherlands who has a strong interest in this topic, and thus, decided to write a book on it. It is his first book, although he has worked as a chess trainer and columnist for many years.

The body of the book consists of the following sections and sub-sections, according to the type of positional sacrifice featured:

Part 1: Fundamental themes

- Chapter 1: Piece play
- Chapter 2: Pawn structure
- Chapter 3: Colour complex
- Chapter 4: Domination

Part 2: Typical positional sacrifices

- Chapter 5: Typical pawn sacrifices
- Chapter 6: Typical exchange sacri-

fices

Part 3: Testing the limits

Chapter 7: Extreme sports

Chapter 8: Heroes

Chapter 9: Superhuman

Part 4: Training material

Chapter 10: Exercises

Each of the chapters is broken up into related subsections. For instance, the chapter on typical exchange sacrifices consists of the Russian exchange sacrifice (more on that below), the French exchange sacrifice (Rxf3), the Sicilian exchange sacrifice (Rxf3), and a couple other types. Furthermore, when presenting a concept, the author usually starts with some very old games and moves through time to very recent games. This helps the reader see and appreciate how the understanding of certain kinds of positional sacrifices has evolved over time. For instance, I was surprised that even top players 100 years ago were hesitant to make certain exchange sacrifices that would be obvious and nearly automatic to an 1800+ rated player today!

The third section of the book, 'Testing the limits,' features many wild and outrageous positional sacrifices, such as the double exchange sac (sacrificing two rooks for two bishops, for instance). These games are particularly fun to play through, though the types of sacrifices featured here are usually rare and difficult to implement in one's own games.

The final chapter contains 45 puzzles to test the reader's knowledge of positional sacrifices. These range from fairly easy to very difficult, and are a good source of material because they are often not about finding a winning continuation. Rather, the author simply asks you to explain what you would play, and why, which makes these exercises more simulative of real chess games because you don't know if there is a winning move in each position. Detailed answers are given for each puzzle, and you can learn a lot by playing through them after attempting to solve them first by yourself.

One of my favorite chapters was actually in the first part of the book: domination. There are some really beautiful games here, and one has to admire the finesse required to sacrifice material and paralyze a strong opponent for the rest of the game, not allowing him

any counterplay whatsoever. I was on the receiving end of such a sacrifice a couple of years ago:

Scott, Tyler - Nanjo, Ryosuke [C27]

Japan Championship 2019, Round 3

1.e4 e5 2.Nc3 Nf6 3.Bc4 Nxe4 4.Qh5

The Frankenstein-Dracula variation: one of the best opening names in all of chess! This line can quickly get wild if both sides play the right moves.

4...Nd6 5.Bb3 Nc6 5...Be7 is much safer, but also much more boring.

6.Nb5 g6 7.Qf3 f5 8.Qd5 Of course, seeing as Black is forced to lose an exchange, the computer prefers White here. In human chess, however, things are not so simple, and Black's practical compensation is quite good.

8...Qf6 9.Nxc7+ Kd8 10.Nxa8 Right out of the opening, an interesting imbalance has arisen on the board. Black has sacrificed an exchange (he will retake the knight on a8) and will remain down material for the foreseeable future. What does he get in return? Well, he has a lead in development and much better control of the centre. Furthermore, White may find it difficult to develop his pieces before Black's initiative allows him to take over.

10...b6 11.d3 Bb7 12.Nxb6? This move wastes precious time, and leaves White with a very difficult position.

12.h4? has been played before, but it is a mistake. 12...Ne7 13.Bg5 (13.Nxb6) 13...Nxd5 14.Bxd5 Qxg5 15.hxg5 Bxd5 16.Nxb6 axb6+ Black's bishop pair is much stronger than White's rook.; 12.Nf3! might be good, with the point that 12...Nd4 13.Qxd4! exd4 14.Bg5!± simplifies things in White's favor.

12...axb6 13.Qf3 Nd4 14.Qh3 f4!±



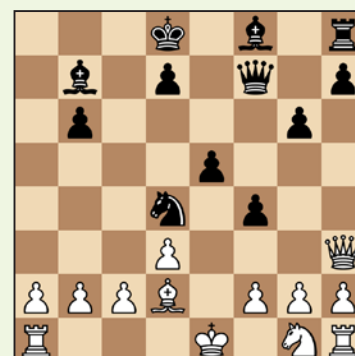
Let's stop and take stock here, as the opening phase is more or less over. White is up a pawn and an exchange, but his pieces can barely move and Black dominates the centre with his pawns and pieces. Furthermore, the queen on h3 can be hassled by ...Nf7-g5, which is not so easy to deal with. To sum up, Black completely dominates the position, and in human chess with the clock ticking, White would be very lucky to consolidate here without major concessions and/or material losses, despite whatever the computer thinks of the position.

15.Bd2 Nf7! Only now did I realize the severity of ...Ng5, and reluctantly traded off my only active piece.

15...g5 followed by ...h5, harassing the misplaced queen on h3, may be even stronger. White's position is very difficult to play.

16.Bxf7 16.0-0-0? Ng5 17.Qh4 Bxg2+ is awful for White.

16...Qxf7



Here I couldn't figure out how to complete my development, and played a losing move.

17.0-0-0?? 17.Rc1 Qxa2 18.Bc3 Bc5 19.Nf3 might be an option, but it still looks awkward to me.; 17.Kd1 f3 18.g3 also looks playable, but White's awful piece coordination makes his position very difficult to play. How will he develop the kingside? (18.gxf3 might be better, but solving White's development issues is not trivial in any case.)

17...Qxa2 18.Bc3 Qa4 I underestimated this move. Black's attack is unstoppable.

19.Bxd4 19.b3? Qa2+

19...exd4 20.Kb1 Bd5 21.Qh4+ 21.b3

Bxb3! with mate coming soon.

21...Be7 22.Qg4 Qa2+ 23.Kc1 Bb4 24.c3 dxc3 25.Qe2 Qa1+ White resigns.

0-1

To give you a taste of the book, I have made some of the games from the free excerpt into puzzles. While solving them, think of how to best sacrifice material. The answers are given at the end of this book review.

1. Lilienthal - Ragozin

Moscow, 1935



How should Black fight back?

2. Topalov - Aronian

Wijk aan Zee 2006, 14.07.2021



How can White make progress here?

I was surprised to learn that many of the types of sacrifices presented in this book actually have established names. Two of them, which were new to me, were the 'Russian exchange sacrifice' and 'The bishop snatcher.' These exchange sacrifices happen more often than one might expect, and I illustrate both of them below with tournament games I remember seeing played here in Japan.

The Russian exchange sacrifice

Besides illustrating a strong Russian exchange sacrifice, the following game serves as a warning of what can happen when an exchange sacrifice is not followed up accurately. Sometimes all it takes is one bad move:

Kitagami,S - Kojima,S [D78]

Chubu Rapid Open Nagoya (3), 03.09.2017



To where should Black retreat his rook?

17...Rd3! A strong exchange sac, and one that White shouldn't necessarily accept, as it will result in Black having a monstrous pawn on d3, supported by the knight on b4. This type of exchange sacrifice - leaving a rook where it can be taken, but doing so will result in the creation of a strong passed pawn - is called a *Russian exchange sacrifice*, according to van Delft. Before reading this book, I was familiar with the concept, but had no idea that it had a name!

18.f4 Qc7 19.Nxd3 White accepts the sac to avoid Black doubling rooks on the d-file and because he has no active plan otherwise. From a practical standpoint, if he is going to suffer, he might as well get some material for it.

19.Rfd1 Rad8 20.Nxd3 cxd3 21.Qf2 Nd7+ is similar to the game.

19...cxd3 20.Qf2 Nd7 21.e5 Bc4 22.Rad1 Rd8 23.Rd2 b6 24.Ne4 c5 25.Rc1 Up until this point, Black has played well to maintain his advantage. Now, probably in time trouble, he goes terribly wrong, and quickly loses his compensation.

25...Nc2? **25...Bb3!** maintains Black's grip on the position. The bishop can go to c2 if needed, to secure the d-pawn further, and the d7-knight can reroute

to d4 in a few moves. One possible continuation is **26.Nc3 Nb8 27.Be4 N8c6+** with an ironclad grip on the position. White struggles to find counterplay and a meaningful plan.

26.Bf1! This threatens Rxc2, forcing Black to trade off the knight, which was an important defender of the d-pawn.

26...Nxe3 27.Qxe3± Bb3 28.Bxd3 Bxa4 29.Bc4 Nb8 30.Ng5 Be8 31.Rcd1 Rxd2+?! 32.Qxd2+- Nc6 33.Qd5 h6? 34.Nxf7 e6 35.Qxe6 Bxf7 36.Qe8+ Bf8 37.Rd7

1-0

The bishop snatcher

This is a rather funny name, and although I had seen it played multiple times, I didn't know what it referred to prior to reading the exchange sacrifice chapter of this book!

Asaka,S - Shiomi,S [D34]

Japan Championship 2019, Round 8, 25.09.2021



How can Black create counterplay here?

12...Rxe3! The bishop snatcher! When a rook sacrifices itself for a bishop on e3 (or e6), it is referred to as a 'bishop snatcher.' This term was coined by a previous author, IM Van de Oudewetering, according to van Delft.

13.fxe3 Ng4 14.Qxd5 Anticipating Black's counterplay against the e3-square, White gives back the exchange.

Trying to hold the pawn with a move like **14.Qb3** was the critical try. Black will win it anyway, though, and retain good compensation for the exchange after something like **14...Qe7**

15.e4 (15.Rc3 Bb4 16.Rd3 Bf5 looks very awkward for White.) 15...dxe4 16.Ng5! Nd4! 17.Qc4 (17.Qxf7+? Qxf7 18.Nxf7 Nxe2+ 19.Kh1 Bxg3! is a nice tactical shot.) 17...Nxe2+ 18.Qxe2 Qxg5

14...Nxe3 15.Qg5 Nxf1 15...Qe8! may even give Black the advantage. For instance 16.Rfe1 Nb4! 17.a3 Nbc2 with an annoying bind that will probably force White to give back the exchange on c2.

16.Qxd8+ Nxd8 17.Kxf1 Bd7 18.Rd1 Bxa4 19.Rxd6 Kf8 20.Ne5 f6 21.Rd4 Bb5 22.Nd7+ Ke7 23.Nc5 Rc8 24.Nxb7 Nxb7 25.Bxb7 Rc2 Draw agreed.

1/2-1/2

I really enjoyed reading this book, in part because the author's explanations of the sacrifices and their accompanying compensation is generally quite good. He also rarely bogs down his readers with reams of analysis and 'what ifs,' instead explaining the positions and the sacrifices in particular with words, rather than concrete lines, when possible. I like this style of writing for this type of book, as the games are to be understood conceptually, rather than memorized. It is also nice because you can play out several games, or even a whole chapter, on a real board in one study session without getting exhausted or annoyed by pages of concrete analysis. Players with good visualization skills may also be able to read much of this book without the assistance of a chessboard, seeing as there are not many variations to divert their attention in any given game.

On the other hand, sometimes van Delft includes comments that are not especially useful, and even obvious, such as writing 'The Ruy Lopez' after 1.e4 e5 2.Nf3 Nc6 3.Bb5 has been played in a game. Sometimes these comments appear to serve merely as a way to break up the notation into more easily readable chunks, and I suppose they also help make the book more beginner-friendly. On the other hand, there were plenty of times when I asked myself 'What if White (or Black) does this?' while reading through a game, only to find no answer in the comments or sub-variations given. Perhaps the answer is obvious

and doesn't need any explanation, but surely it can't be more obvious than the first three opening moves of the Ruy Lopez!

Additionally, stronger players might want a deeper and more concrete analysis of the games. Fortunately for them, many of the games here are well-known, and have been analyzed in greater depth elsewhere. That being said, there are also many lesser-known games, some played by amateur players, that serve to broaden the knowledge of even well-read chess enthusiasts and titled players. This book does a great job of fitting a large number of games and themes into a single book of barely 300 pages, and as a result, the depth of analysis had to be compromised a little bit.

Highly recommended for players of all levels, though I expect that players between 1500 and 2300 strength will get the most out of this book. Some of the exercises are very challenging, so even titled players might find them to be good training material.

4.5/5 stars!



Solutions to the puzzles:

1.

27...Rxe3! 28.Bxe3 Rxe3 29.Nxh5? White carelessly passes the initiative to Black.

29...Nxh5 30.Qxh5 Bc6 31.Qg5 Rxc3 32.Qd2



White thought he had tricked Black by trapping the rook on c3, but this idea backfired on him.

32...Rxc2! 33.Rxc2 Ne6 Black went on to win with his connected passed pawns, which offer good practical compensation for two exchanges.

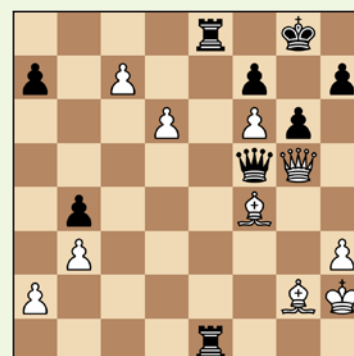
0-1

2.

36.Rxe4! Sacrificing a second exchange (the first was a prepared exchange sac in the opening). This brilliant move kills off Black's counterplay, and despite his material advantage, he quickly ends up helpless.

36...Rxe4 37.d5 The white bishops defend the pawns and protect White's king simultaneously. Meanwhile, what are Black's pieces doing to stop White's pawns from queening?

37...Rce8 38.d6 Re1+ 39.Kh2 Qf5 40.Qg3 g6 41.Qg5



Black cannot avoid the queen exchange because of the combined threats of queening the central pawns and mate on g7.

41...Qxg5 42.Bxg5 Rd1 43.Bc6 Re2+ 44.Kg3

1-0

初心者向け講座(6)

～フォーク～

坂井 延寿

今回は久しぶりにタクティクスのアイデアについて学びます。今回のモチーフは「フォーク」です。以前扱った「ピン」や「スクエア」と比べると少し難しいかもしれないと個人的には思います。それでも、その理由を含めて理解すればきっと「見える」はずですよ。

クイズ

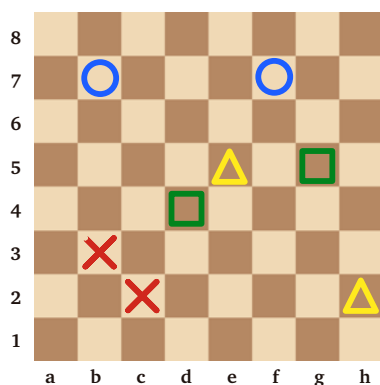
A「今回はいきなりクイズから始めます。図1を見てください。」

E「駒が何もない盤上に○、×、△、□の図形が2つずつ配置されていますね。」

A「この図形はとある法則に基づいて配置されています。さて、どんな法則でしょうか？」

E「答え合わせは後ほどやりましょう。」

図1



フォークとは

E「まずはいつも通り定義から行きましょう。」

A「フォークは一度に2つ以上の

相手の駒を攻撃することで、どちらか片方の駒を取ってしまうタクティクスです。フォークが実現できる駒は、、、えーと、、、あ、全部か。」

E「そうだね。チェスの駒はポーンですら2つのマスを攻撃できるので、どの駒でもフォークが実現できます。ある特定の駒でフォークをすることを「ナイトフォーク」のようにその駒の名前を付けて呼びます。」

A「ナイトフォーク、クイーンフォーク、ポーンフォークをよく聞く気がします。」

E「そうだね。キングのフォークはほぼエンドゲームでしか見られないし、ビショップとルークは直線的な動きなので、生じにくいフォークな気がします。」

A「図2と図3に典型的なビショップフォーク、ルークフォークの例を示しました。生じる状況が限定的であることが分かると思います。また、動きが直線的なので難しくないのでいいのでしょうか。」

図2

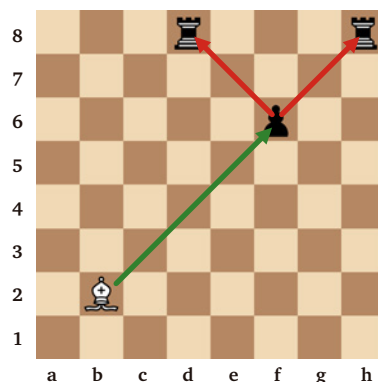
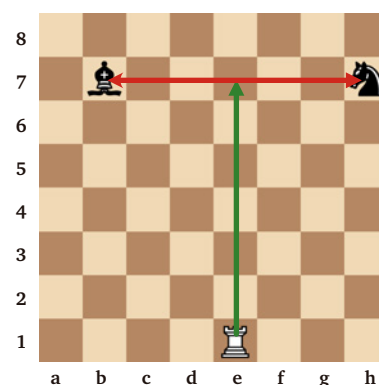


図3



ポーンフォーク

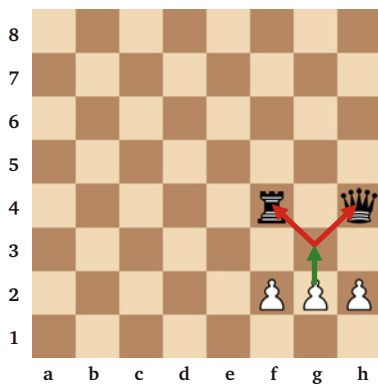
A「では、その他のフォークについて見ていきましょう。」

E「まずはポーンフォークですね。このフォークに関しては生じる駒の配置は1種類のみです。だから簡単なはずなんですが、、、」

A「意外性があるんですよ。図4に示すように、ポーンフォークは相手の駒が1マス隔てて横に並んだ時にしか生じません。しかもポーンは1マス（初期配置なら2マス）しか進めないで、かなり特殊な状況でしか起こらないはずなんですが、、、。」

E「相手キングをガンガン攻めていると、相手のポーンに近付くので、油断してポーンフォークを決められることがよくある気がします。」

図4



クイーンフォーク

E 「次はクイーンフォークです。」

A 「クイーンフォークは強烈ですし、見えにくいタクティクスです。」

E 「なにせクイーンは2手でチェス盤上のあらゆるマスに移動できます。言い換えれば、1手であらゆるマスに攻撃できるということです。」

A 「もちろん、味方の駒や相手のポーンなど障害物があるので、いつでもどこでもフォークができるわけではないです。」

E 「このように機動力が高いクイーンなので一般化は難しいですが、基本的には ルークの動き(縦横)とビショップの動き(斜め)で2つの駒を攻撃 することが多いです。」

A 「相手のルークはビショップの動きで、ビショップはルークの動きで攻撃するしかないので、必然的にそのパターンが多くなります。」

A 「もう一つのポイントは、クイーンは最も価値のある駒なので、相手の駒をタダで取らなければならないことです。」

E 「言い換えれば 守られていない駒を狙うのが基本 ということですね。」

A 「自陣に守られていない駒があればクイーンに狙われないか、相手に守られていない駒があればクイーンで攻撃できるかなどを考えれば、クイーンフォークの狙いに気が付きやすくなると思います。」

E 「クイーンフォークの狙いは図5のように同じ局面で2通り生じること多いです。実践的にはどちらか一方しか成立しないなんてこともあるので、気を付けましょう。また、図6のように序盤でも生じることがあります。」

A 「相手がcポーンを突いたら、クイーンが出てくる可能性に気を付けるといいですよ。」

図5

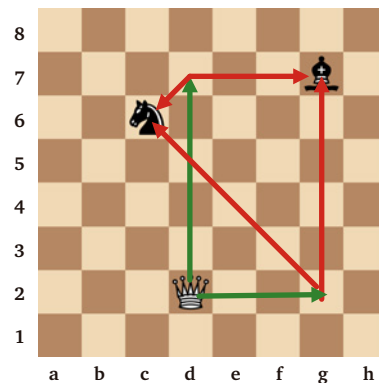
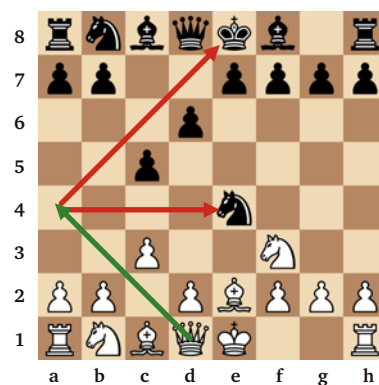


図6



ナイトフォーク (クイズの答え)

A 「さて、最後はナイトフォークですが、その前にクイズの答え合わせをします。」

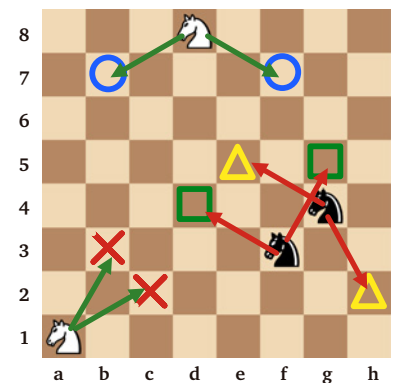
E 「図7に示すように、先ほどの

図形の位置はあるマスからナイトで攻撃できるマスの組み合わせでした。」

A 「○同士や△同士などは横や斜めに並んでいますが、ナイトでも攻撃できるんですよ。」

E 「この意外性がナイトフォークの難しさですね。チェスと言えばナイトフォークというイメージがある人も多いのではないのでしょうか。」

図7



まとめ

これまで、ピンやスクエアを見つけるには駒の並びが大事だと言ってきました。ピンやフォークでは縦横や斜めの駒の並びを意識すればよかったわけですが、フォークではより複雑な駒の配置になっています。本記事ではナイトフォークの駒配置を意識してもらうためにクイズを出しましたが、どうだったでしょうか。また、クイーンフォークに関しては駒配置が無数にあるため、「守られていない駒があるかどうか」ということを意識する方が重要だと思います。

「ピン」、「スクエア」、「フォーク」の3つをマスターすれば、大多数のタクティクスの基本となるモチーフが理解できることになります。ピンとスクエアの回をこの機会に復習してみてください。

チェス大会 in アメリカ 上杉賀子

NO. 52 第5回アーリントン・オープン大会



晋作の試合を観戦するGM Elvest

2005年10月1日~2日

晋作 (14歳)の結果: 3.5P/5Game

レーティング*1965→2005

大会詳細: [USCFサイトより](#)

ナ ショナルマスター、
FIDEマスターを連続で
倒し、一気にUSCF2000

台に乗せました。グランドマスターJaan Ehvestも試合を見ていました。

最終ラウンドは野球のためbyeです。この週末、長男はまたもやクロスカントリーの遠征に参加。主人はチェス大会の途中で抜けて、往復5時間かけて応援に行き、写真をとってきてくれました。

NO. 53 第10回北バージニア・オープン大会

2005年11月5日~6日

晋作 (14歳)の結果: 2.5P/5Game

レーティング*2005→1996

大会詳細: [USCFサイトより](#)



世界ジュニア選手権会場にて
大会関係者の方々と

名が選ばれジュニアの世界チャンピオンを決めるとんでもない大会に出ることになりました。過去この大会で優勝したジュニアから世界チャンピオンが何人も出ています。今人類で一番強いロシアのカスパロフもこの大会の覇者です。参加年齢は20歳以下なのでほとんどが大学生、もちろんグランドマスターやインターナショナルマスターなど世界のタイトルホルダーが勢ぞろい、国家の威信と名誉をかけた超強豪天才プレーヤー達が参加します。

最終戦に負けた相手はエチオピアのオリンピック代表の常連です。2008年ドレスデンで行われたオリンピックではキャプテンとしてチームを率いていらっしゃいました。ローカルの大会でとても大事にして頂いた方達のひとりです。

番外編

世界ジュニアチェス選手権大会

この大会の翌日、世界ジュニアチェス選手権大会「World Junior Chess Championship」に日本代表として出場するためワシントンDCからロンドン経由でイスタンブールに向いました。このレポートは基本アメリカでのチェス大会なので世界戦はこの頃こういうこともあったということさらっと入れておきます。

日本を代表する強い高校生2人が出場を辞退したため、国際レートを持っているジュニア「第3の男」??として各国から代表1



ルーマニア代表選手と対戦する晋作

弱冠14歳、代表枠では最年少の中学2年の晋作は明らかに場違いでした。(はっきりいって少なくとも国際マスターのタイトル・それ相当の実力を持っていないければ場違いです)晋作のコーチはロシア人で、世界選手権に当時の自分の生徒達も送り込んでいるのでそのレベルの高さはよく知っていて早速時間を作って臨時レッスンをしてくれたりとまわりはことの重大さをわかっているのですが本人がいまいち。それよりもこの学期の成績如何でハイスクールの科目選択も決まるという時期に2週間も休んでしまうということのほうが気がかりのようでした。一日1試合、計13試合。結果は12戦目にして強豪のフランス代表(レート2214)に勝ち念願の初勝利を手にし、その勢いで最終試合対コロンビア代表戦にも勝つことが出来、最終的に2勝7敗4引分け。初めての世界戦、異国での長丁場の滞在、最年少参加ということ考えると健闘したと思います。本人はアメリカでの大会と同じく落ち着いて指し、毎晩ブリッツチェスで遊び、大画面でサッカーのワールドカップ予選を見て皆で歓声をあげ、大会を通して作った友達の数にNO.1ではと思われるくらい、親子で沢山の友達ができました。何はともあれ舞台は全米から世界に広がった記念すべき大会でした。

Theme and Variations (9)

前嶋 啓彰

1.はじめに

プロブレムの世界にも、OTBの世界と同じようなGM、IM、FMといったタイトルがあります。これらはWFCC (World Federation of Chess Composition) により規定されており、Chess Compositionのタイトル、Judgeのタイトル、Solverのタイトルと分かれています。

例えばChess Compositionのタイトルは、FIDE Albumという数年間に出版されたプロブレムの傑作選に選ばれた回数が特定の回数を超えると授与されるタイトルです。ComposerのFMになるためにはFIDE Albumに12作品が載らないといけません。Judgeのタイトルは創作されたプロブレムの良し悪しを判定する資格で、実績に基づいた審査をもとに決まります。また、Solverのタイトルはプロブレムの解答選手権の成績(ノーム)と解答レーティングで決まります。

詳しい規定は以下をご参照ください。<https://www.wfcc.ch/1999-2012/statutes2011e/#annex3>

日本人のタイトル保持者は、International Solving Master (解答IM) の若島正さん、FIDE Solving Master (解答FM) の山田康平さん (FM山田弘平さんと名前の読みが同じですが別の方です) がいらっしゃいます。

さて、今回取り上げるのは、OTBの世界でもGM、あるいは各国チャンピオンなどのタイトルを得ながら、プロブレムの世界でも活躍した (あるいは、これから活躍していくであろう) プレーヤーによる作品です。彼らの作品を見ていきましょう。

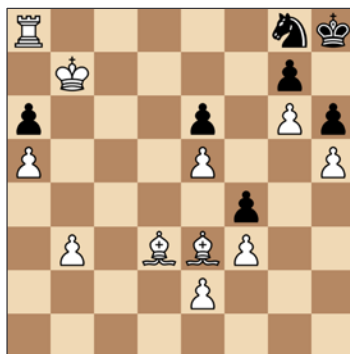
2.Pal Benko (1928-2019)

8回の全米選手権優勝、世界選

手権挑戦者決定戦出場 (1962年)などを誇り、Benko Gambitにも名前を遺し、Polgar姉妹とLekoのコーチとしても活躍したGM Pal Benkoは、プロブレム及びエンドゲームスタディの作家として知られており、Chess CompositionのIM称号も得ています。

今回この記事を書くためにBenkoの作品を調べたところ、少なめの駒数と、シンプルながらも奥深い指し手で、OTBプレーヤーにも楽しめるプロブレムを多く創作しているという印象を持ちました。

Benko, P., HM Sakkelet, 1994



#4 (11+7)

4手メイトです。今まで紹介してきたプロブレムよりも、なんとなくOTBの香りを感じる初形だと思います。ちょうど、実戦で黒が...f4とスタイルメイトトラップを仕掛けたところに見えなくもありません。

実戦であれば1.Rxg8+ Kxg8 2.Bc5が明快な勝ち方です (この局面で残り30秒であれば間違いなく私はそう指すと思います) が、今はプロブレムです。4手でメイトになる手順を探しましょう。

解

1.Bb5!

黒はどちらのビショップも取れますが、どちらを取ってもツークツワンクになり、ナイトを動かさざるを得なくなってメイトになります。

1... axb5 2.Bb6! (この位置である必要があります) b4 3. Bd8 (zz.)S~ 4. BxS#

(3手目はナイトをどこに動かしても、ビショップでナイトを取って4手目でメイトです)

1... fxe3 2.Be8 S~ 3.Bf7 S~ 4 RxS#

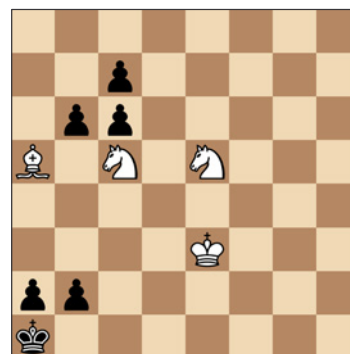
(2手目、3手目でナイトをどう動かしても、4手目でルークでナイトを取ってメイトになります)

アイディアが明快で、しかも駒配置や手順に無理がなく、このまま実戦の一局面と言われても違和感がないプロブレムだと思います。

3. Jan Timman (1951-)

オランダ最強のGMの一人であり、9回のオランダチャンピオン、*New in Chess*誌の編集者、そして世界選手権でプレーしたこともあるGM Jan Timmanは、エンドゲームスタディ作家という顔も持っています。

Timman, J. H., Special Com. Schakend Nederland, 1974



Win

白番白勝ちです。

このスタディを解く上での予備知識を書いておきます。白キング+白ナイト2個vs黒キングのみ、というエンドゲームは基本的にドローになります（黒が協力的であれば白勝ち）。しかし、白キング+白ナイト2個vs黒キング+黒ポーン1個、というエンドゲームは白に勝つチャンスが生まれます。白が勝てるかどうかは黒ポーン的位置によって決まり、このエンドゲームを研究した理論家のAlexei Troitskyにちなんでトロイツキー・ラインと呼ばれる線上よりも黒ポーンが進んでいなければ白勝ち、進んでいけばドロー（あるいは黒キング等の位置が悪いと白勝ち）になります。

また、白キング+白ビショップ+白ナイト対黒キングのみ、というエンドゲームは白勝ちです。

つまり、白が勝つためにはビショップとナイトを残しながら黒のポーンをすべて取り切るか、ナイト2個を残して黒ポーンが1つ残る形にするか、どちらかにする、というのが一般的な考え方です。

しかし、解はこの2つの考え方とは全く異なるところにあります。

解

1.Sc4!

なんと、ビショップが取られそうですが、それを救わずにナイトを動かします。狙いはメイトで、2.Sb3+ Kb1 3.Sa3#の狙いがあります。

1... bxc5

1... b1=Q? 2.Bc3+ Qb2 3.Sb3+ Kb1 4.Bxb2 b5 5.Nbd2+! Kc2 6.Ba1 bxc4 7.Nxc4 Kb1 8.Kd2!! (これがメインラインでもよいくらい美しいラインです) や、1... bxa5 2.Sb3+ Kb1 3.Sa3#があるので、こう取るよりありません。

2.Sd2

細かいラインは省略しますが、2.Kd2や2.Bd2ではドローにしか

りません。

2... b1=Q 3.Bc3+ Qb2 4.Kd3!

さて、ここでのポイントは、黒Qxc3+に対して白はKxc3-Kc2-Sb3#があることで、これが可能かどうかがこの後のプレーのポイントになってきます。白がKxc3と取ったときに黒のキングまわりは部分的にステイルメイトですが、もしcファイルにポーンが動ける状態で残っていれば白にKc2-Sb3#の手段が生まれます。

4... c4+

4... Qxc3? 5. Kxc3 からKc2~Sb3#を狙って白勝ちになります。

5.Kd4!!

5.Kxc4? c5 6.Kd3 c4+ 7.Kxc4 c5 8.Kd3 c4+ 9.Kxc4 Qxc3+ 10.Kxc3 ステイルメイトです。d4マス对白が使えることが非常に重要になってきます。

5... c5+ 6.Kxc4 c6 7.Kd3 c4+ 8.Kd4 c5+ 9.Kxc4

5手目の変化手順と似ていますが、違うところは黒にcポーンが1つ残っていることです。

9... Qxc3+ 10.Kxc3 c4

cポーンがなければステイルメイトでドローだったのですが、黒は余計なcポーンのせいで負けてしまいます。

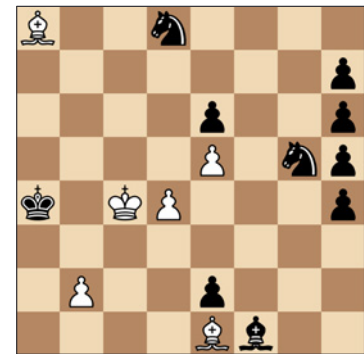
11.Kc2 c3 12.Sb3#

4. John Nunn (1955-)

この連載では何度も名前が登場するGM John Nunnです。イギリスチャンピオン、世界解答チャンピオン、チェスに関する書籍の出版社であるGambit社の創設と、今までご紹介した2名のGMに負けず劣らず多才なプレイヤーです。

イギリスの専門誌*The Problemist*で1991年の1st Prizeを得た作品を見てみましょう。

Nunn, J. 1st Prize the Problemist, 1991



#24

24手メイトです。いままで紹介したプロブレムの中では最長ですが、臆さず盤面を分析していきましょう。

まず、黒キングの逃げ場はなく、白キングに対するチェックもありません。

また、黒のf1ビショップを動かすとBb4~b3#のメイト狙いが受からなくなりますのでf1ビショップは動かさせません。さらに、c8のナイトを動かすとBc6#、g5のナイトを動かすとBe4~Bc2#が受からなくなるのでナイトも動かさせません。

ということは、黒はポーンしか動かす駒がないということになります。それも、hファイルに4つ並んでいるポーンを動かすしかないなので、どこかで必ず手詰まりになります。白はそれまで手待ちを続ければ、いずれ黒が残りの何かの駒を動かさなければいけなくなり、先ほどのメイト手順のどれかの手順に入るということになります。

解

1.Bh1!

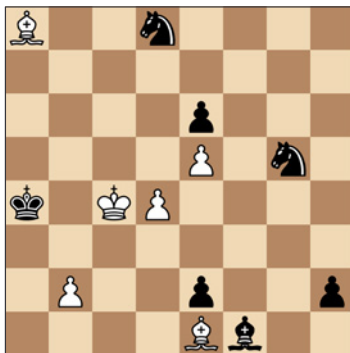
白の手待ちはこの手しかありません。e1ビショップを動かせば...e1=Q+がありますし、b2ポーンを動かすと...Ka3からの黒のキングの逃走経路が開きます。

1... h3 2.Ba8!

手待ちのためにはa8-h1を往復することになります。黒も、いず

れ手が尽きるとわかっていながらhポーンを進めるしか手がない状況です。以降、白はビショップの往復、黒はhポーンを進めるという手順が続きます（細かい手順前後はありますが、白はビショップを往復する手を指すのは変わりません）。

2... h2 3.Bh1 h4 4.Ba8 h3 5.Bh1 h5
6.Ba8 h4 7.Bh1 h6 8.Ba8 h1=Q
9.Bxh1 h2 10.Ba8 h1=Q 11.Bxh1
h3 12.Ba8 h2 13.Bh1 h5 14.Ba8
h1=Q 15.Bxh1 h4 16.Ba8 h3
17.Bh1 h2 18.Ba8



途中図、18.Ba8まで

18...Sb7

先に捨てることで将来的なスタイルメイトトラップを作ります。

19.Bxb7 h1=Q 20.Bxh1 Bg2
21.Bxg2 Se4

このナイトを取ればスタイルメイトですが……

22.Bb4!

これで解除できます。

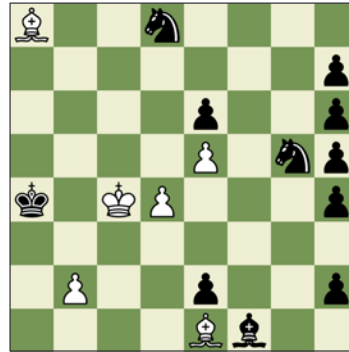
22... Sd2+ 23.Bxd2 e1=Q 24.Bc6#

このプロブレムはビショップのCorner-to-Corner（4隅のどこかのマスからまた別のマスへと移動する手）が18手連続するという記録のテーマになっています。このように、「特有の動きが連続する手数を競う」というのも、プロブレムではよく出てくるテーマです。

余談ですが、hポーンをもう1つ増やせばもっと手数が伸びるのではないかと思った方もいらっしゃる

るかと思います。しかし、プロブレムの慣習上それはできないことになっています。

図を作ってみましょう。こんな図になります。



全く何の変哲もない局面に見えるかもしれませんが、プロブレムの決まり事として、「出題図は、合法でなければならない」というものがあります。合法（legal）とは、チェスの初期配置から始めて、チェスのルールに従って指すことでたどり着ける局面であること、という意味です。

さて、上の図の局面は合法でしょうか？それを考えるために、hファイルとeファイルのポーン形を見ていきましょう。この形が合法だと仮定して矛盾を導きます（背理法です）。

（証明）

hファイルにポーンが5つ並んでいます。これは、初期位置でももちろんhファイルにはおらず、gファイルやfファイルにいたポーンです。そしてポーンは駒取りをすることで隣のファイルに移れますし、駒取りをしない限り移れません。

hファイルにこの形にポーンが5個並ぶためには、g,f,e,cファイルからそれぞれポーンが来ないといけません（dファイルから来ると、e6のポーンが来る場所がなくなります）。

また、e2のポーンはもともとbポーンであったはず（eポーンはh5に、dポーンはe6に、cポーンはh2にいるので）。

さて、ポーンがもともとどこから来たかがわかったので、この形になるための最低限の駒取りの回数を数えてみましょう。

g→hポーンが1回、f→hポーンが2回、e→hポーンが3回、c→hポーンが5回、d→eポーンが1回、b→eポーンが3回で、計15回です。これはつまり黒がポーンで白の駒を15個取ったということになります。

しかし、現在白の盤上には6個の駒が残っています。初期配置の白の駒の総数は16個ですから、黒が取れる白の駒数は10個ということになります。

これは矛盾しており、つまり上記の図は合法ではない、ということになります。

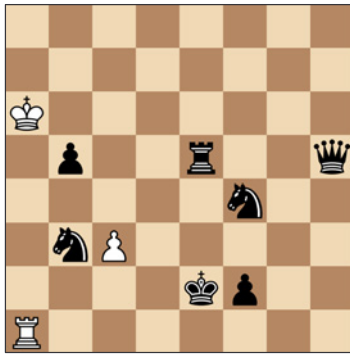
「取った駒を使えない」、「ポーンは隣の列に移るときに駒取りが起きる」ということを使って、初期配置から上記の図にたどり着けないことを証明しました。

プロブレムを作る際に、初期配置からたどり着けるかどうかというのは気を付けないといけない点の一つです。そして、初期配置からたどり着けない原因として多いものが、ポーン形によるものです。

5.Rameshbabu Praggnanandhaa (2005-)

史上4番目に若い年齢でグランドマスターになった、インドの天才少年GM Rameshbabu Praggnanandhaaも、近年プロブレム創作を行っています。2020年の9月に、最初の作品が*The Problemist*に掲載されたというニュースがインターネット上で紹介されていました。

**Praggnanandhaa, R. The
Problemist, 2020**



h#3 (2 sols.)

解

**1.Sg2 Ra4 2.Kf1 Rh4 3.Qe2(Re2?)
Rh1#**

**1.Sd2 Ra2 2.Ke1 Rc2 3.Re2(Qe2?)
Rc1#**

2つの解は関連しており、そして
3手目の黒の手はe2のマスをブ
ロックする手ですが、Qe2とRe2のう

ち、一方のみが機能するものにな
っています。(1.Sg2のラインで
3.Re2だと3.Rh1がメイトになら
ず、1.Sd2のラインで3.Qe2だと
3.Rc1がメイトにならないこと
にご注目ください。)

このように、一見どちらでもよ
さそうな手が、特定の理由により
一方のみが機能し、もう一方は機
能しない、という状況を Dual
Avoidanceと言います。Dualとい
うのは解の2手目以降が複数ある
という意味ですが、それが上手く
避けられている、という意味で
す。

おそらくこれから、GM
Praggnanandhaaは世界トップGM
へと成長すると思いますが、引き
続き彼のプロブレムが見られるこ
とを切に願います。

今回登場したプレイヤーたち



Pal Benko
(@wikipedia)



Jan Timman
(@wikipedia)



John Nunn
(@wikipedia)



**Rameshbabu
Praggnanandhaa**
(Photo: Amruta Mokal)

PLAY CHESS!!!



INFORMATION

TOURNAMENT

NCS Sunday Cup Grand Prix 6

11/14 (Sun)

5R (15分+10秒/手) lichess.org
国内最強のオンライン(招待制)・
ライブ中継あり!

オンライン花金ブリッツ

TGIF Blitz Tournament

11/19 (Fri)

7R (3分+2秒/手) Chess.com
NCS主催 当日飛び込み参加可!
非会員でも参加自由! 無料!

ジャパンオープン 2021

Japan Open 2021

11/20 (Sat) - 11/23 (Tue)

7R (60分+30秒/手) FIDE公式戦
東京、きゅりあん ・日本最高峰の
オープン大会

第9回九州チーム選手権大会 in 伊万里

9th Kyushu Team Championship
in Imari

11/28 (Sun)
伊万里市大坪コミュニティセンター・3Rスイス(25分+10秒/手)・伊
万里チェスクラブ (末次健太郎)

imarichess@gmail.com

NEWS

各地でクラブ、例会の再開

COVID-19感染拡大でチェスクラブ
の例会がなかなか開けませんで
したが、やっと少しずつ活動を始め
ています。

NCSの公認チェスクラブは誰でも
安心してチェスを楽しめるよう
COVID-19ガイドラインに沿って活
動しています。

例えば、北海道、仙台、千葉、北
千住、名古屋、大阪阿倍野、神
戸、そして伊万里チェスクラブ…
是非一度お近くのチェスクラブの
ホームページを訪ねてみてくださ
い!

[公認チェスクラブリスト](#)

世界チェス王者決定戦 2021

World Chess Championship 2021

11/24 (Wed) - 12/16 (Thu)

2020年開催が延期され、全世界の
チェスファンが待ちに待った世界
王者決定戦。2013年にチャンピオ
ンとなってから現在までタイトル
を保持し続けているGM Magnus
CarlsenにGM Ian Nepomniachtchi
が挑む。

go.chess.com/wcc

FOLLOW US & SUBSCRIBE US



@Chess_Society



PENREC.tv



NCS OFFICIAL CHANNEL

日本チェス連盟 -

[National Chess Society of Japan](#)



Right Mood, Right Move!

Chessmoodは、グランドマスター達がチェス愛好家に向け
開設したオンラインラーニングです。

チェスのスキルアップをしたい、単にゲームを楽しみたい、
そうした皆様にご活用いただけます。

高品質のビデオレッスンやウェビナーなど、
あなたのステップアップをお手伝い。

さあ、Chessmoodであなたのチェス力をアップさせましょう!

Chessmood is a place created by GMs for chess enthusiasts who want to improve
their chess skills or just enjoy this beautiful game. High-quality video courses and
webinars will empower you to step up to the next level. This is our mission, let us
help you to become a better player.

<https://chessmood.com>

STREAMING GUIDE

新番組、続々登場！

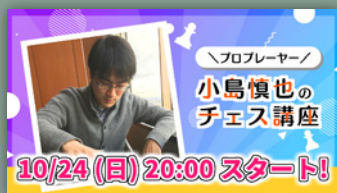
OPENREC.tvにて新しい番組が始まりました。数少ない日本語でのチェスコンテンツとして、実況中継だけに留まらず、講座、オンラインならではの参加型の企画も増えました。役立つ、繋がる、楽しい番組となっていますので、ぜひどちらのチャンネルもチェックしてみてください！

NOVEMBER

11/03 (Wed)	21:00	Openrec	初心者向け講座「読みのキホン」
11/06 (Sat)	21:00	Youtube	名局から学ぶ必修パターン
11/10 (Wed)	21:00	Openrec	オープニング講座「メインライン探訪」
11/14 (Sun)	13:00	Youtube	NCS Sunday Cup GP6
11/17 (Wed)	21:00	Openrec	初心者向け講座「読みのキホン」
11/24 (Wed)	21:00	Openrec	オープニング講座「メインライン探訪」 (S1 最終回)
11/26 (Fri)	20:00	Openrec	Master Blitz vs FM山田弘平
11/27 (Sat)	未定	Youtube	ジャパンオープン振り返り
11/28 (Sun)	20:00	Openrec	プロプレーヤー小島慎也のチェス講座

※上記は予定です。追加・変更・中止の場合があります。その他、配信スタッフによる突発配信なども行っています。

NEW



プロプレーヤー小島慎也の
チェス講座
11月28日(日) 20時～

IM 小島慎也氏を講師に迎え、各回異なるテーマに沿ってチェスを学びます。全国どこからでもプロの講座を受講できるまたとないチャンス！

チェスのあれこれ お悩み相談室
随時配信

「好きなプレーヤーは？」「どんなトレーニングをしたらいい？」あなたのチェスのお悩みに、平尾聡至氏がお応えします。ラジオ感覚で気軽にお楽しみください。



Master Blitz vs FM 山田弘平

解説や実況でお馴染みの山田先生こと FM山田弘平氏とライブでBlitz勝負！ タイトルをもつプレーヤーが対戦中にどんなことを考えているのかをリアルタイムで知ることができる貴重な機会です。第一回目の放送では見事負けなしで配信を終えた山田先生を倒すことができる挑戦者は現れるのか？！

NCS

ナショナル
チェス
ソサエティー
オブジャパン

日本チェス連盟

は **有償**

ボランティアスタッフを募集しています!

NCSの運営を支えてくれるボランティアスタッフ(有償)を大募集! ウェブ・動画編集・デザインなど、チェス以外の興味で関わっていただける方も大歓迎です。チェス歴は問いません。私達の活動を支えてくれる方をお待ちしております!

👤 ... 募集予定人数 ⌚ ... 推定作業時間

ウェブサイト部

ウェブサイト 保守管理スタッフ

仕事内容

ウェブサイトのシステム更新を行います。更新頻度は多くないので、その都度お任せする形になります。

求めるスキル

システム更新に必要な知識(コーディング、PHPなど)

👤 1名 ⌚ 都度(1回あたり1時間程度)

ウェブサイト部

ウェブサイト 要項作成スタッフ

仕事内容

大会要項・その他お知らせなどの記事をテンプレートに沿って執筆したり、レイアウトの編集をします。

求めるスキル

経験不問。日本語と英語どちらもできる方、ブログ記事の執筆に興味がある方、wordpressの知識がある方大歓迎!

👤 1~2名 ⌚ 3時間 / 月

配信部

配信スタッフ

仕事内容

YouTubeやOPENREC.tvのNCSチャンネルにてライブ配信を行います。

求めるスキル

チェスの講座や大会の実況、解説をできるチェスの知識 / チェス以外の配信の企画力。

👤 1~2名 ⌚ 5時間 / 月

配信部

動画作成・編集スタッフ

仕事内容

YouTubeやOPENREC.tvに投稿する動画の企画・作成・編集。

求めるスキル

経験は問いませんが、動画編集ソフトで字幕を付けたり音を付けたりする編集技術は必要です。

👤 1~2名 ⌚ 2~3時間 / 週

配信部

編集部

DTP/配信素材作成 スタッフ

仕事内容

配信のサムネイルや配信画面で使う素材の作成、またはNCSレター原稿のレイアウト作業(月中~下旬の作業)を行います。
※デザイン制作ソフト(Affinity Publisher)の支給、プロによるアドバイスあり。

求めるスキル

経験不問。レイアウトやデザインに興味がある方。

👤 1~2名 ⌚ 5~7時間 / 月

編集部

執筆スタッフ

仕事内容

NCS主催のチェス大会(OTB、オンライン)のレポート(NCSレター1~2ページ相当)の執筆をします。

求めるスキル

チェスの知識。

👤 1~2名 ⌚ 5時間 / 月

レーティング部

レーティング計算 スタッフ

仕事内容

毎月1日に発表するスタンダード・ラピッドのレーティングを作成します。Googleスプレッドシート(オンラインで複数人が共有可能なExcel)を使用しレーティング変動を計算します。

求めるスキル

経験は特に問いませんがExcelの知識があると望ましいです。

👤 1~2名
⌚ 5時間/月(①毎月20~31日まで②毎月中旬~20日までのいずれか)

総務部

メンバーシップリスト 管理スタッフ

仕事内容

新会員の登録、ウェルカムメール送信、会員期限の更新など。

求めるスキル

Excelを使える方、すぐに連絡が取れる方。

👤 1名 ⌚ 毎日(週に数時間程度)

総務部

NCS口座入出金確認 管理スタッフ

仕事内容

定期的に各NCS銀行口座の口座を確認、入出金をファイルに記入など。

求めるスキル

すぐに連絡が取れる方。経理の経験者歓迎。

👤 1名 ⌚ ほぼ毎日(週に数時間程度)

応募方法

簡単な履歴書を添え、以下の宛先までご応募ください。

✉ info@japanchess.org

編集後記 32

ルーク・エンディングの 秘かな愉しみ

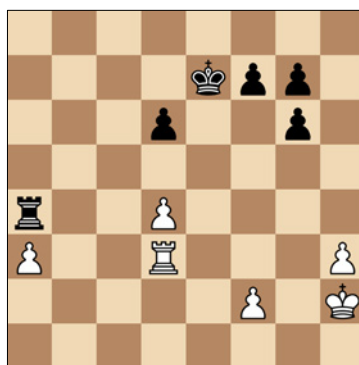
神田 大吾

私はずっと、ルーク・エンディングが大嫌いでした。

エンディングの解説書では決まって最初にルセナ・ポジションやフィリドール・ポジションが示され、正解はこれ、と延々と手順が書いてあります。これを全部、覚えるのかぁ…なんだか公式とか年号を丸暗記させられるみたい。つまんねえなあ、と途中で放り出して、それっきり。ルーク・エンディングは実戦ではよく出てくるので、強くなるためには勉強しなければ、という義務感でまた本を開いては、長続きしないで放り出す。この繰り返しでした。

そんなふうに不貞腐れていた私の目を覚まさせてくれたのが、Nicolay Minev: *A practical guide to Rook Endgames*, Russell Enterprises, 2004でした。この本の第1章が「1.串刺しSkewer」「2.両取りDouble Attacks」「3.ピン」「4.駒をズラすDeflection」等々、「技のかけ方の基本Tactical Elements」から始まり、ほほう！と目から鱗が落ちました。いずれも中盤の戦いに必要な技術です。なるほど、確かにルークとポーンしか盤上に残っていないのでエンディングではあるけれど、示された局面図はポーンが4対4とか、数が多いので、気分は中盤の戦いです。正解手順をただ闇雲に覚えるのではなく、パターンに親しめば、いくらでも応用がきくのだからわかり、ルーク・エンディングの魅力に開眼した次第です。

そんな私ですので、今月号の「名局から学ぶ必修パターン～The Magic of Rook Ending～」は興味津々、駒を盤に並べて再現しながら読みました。期待にたがわず、楽しい驚きに満ちた記事でした。



上の局面で白のSpielmannは43.Kg3と指しました。エンディングでは自分のキングを中央に寄せるべしというセオリーどおりの手ですが、ぬるかった。ここは

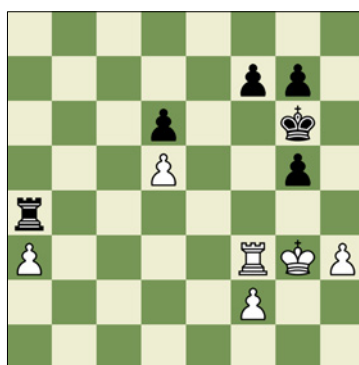
43.d5

が好手で、そのココロは

43...g5 44.Kg3 Kf6 45.Rf3+

と進んだとき、白のポーンがe6を抑えているので黒が45...Ke6と寄れないことです。相手のキングを中央に近づけないようにする意味でした。そして

45...Kg6



に続いて

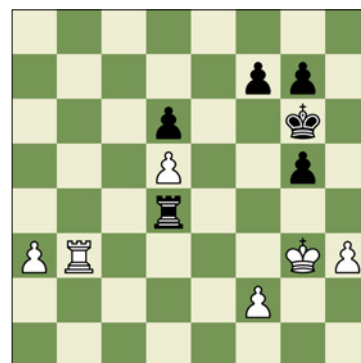
46.Rb3!

が「ルークの力を最大限に活かすカウンター」（名局、p.13.）でした。

ここから先は私の単なる推測ですが、いくら昔の話（1909年）とはいえ、Spielmannは世界

のトップ棋士の一人でしたから、きつとここまでは読んでいて、でも次に

46...Rd4



となるからダメだ、反撃は成立しない、と読みを打ち切ってしまったのではないか。まさかその先に

47.a4!

なんて手があるとは！これで「ドローチャンスのあるエンドゲーム」（名局、p.13.）になるなんて、お釈迦様でもご存じあるめえ！

どうぞ、皆様もぜひ「名局から学ぶ必修パターン～The Magic of Rook Ending～」をお読みください。ルーク・エンディングは楽しいですよ！

編集部

木下奏子・山田明弘・神田大吾
ごまめ・黒坂雄基・山内美加
りんごぼうず・ヒーバート由美子
(順不同)

発行

日本チェス連盟（一般社団法人
National Chess Society of Japan）

本誌に掲載された写真、イラスト、記事、棋譜の解説等について、無断転載および無断配布を禁止します。著作権はそれぞれのクリエイターにあります。